平成23年度　CSI委託事業（コンテンツ系）で31機関12プロジェクトを支援

●3つの領域：領域1（コンテンツ作成支援）／領域2（先導的プロジェクト支援）／領域3（学術情報流通コミュニティ活動支援）

第1期（平成17年度～平成19年度）
- ●平成17年度：19機関
- ●平成18年度：57機関、22プロジェクト
- ●平成19年度：70機関、14プロジェクト

第2期（平成20年度～平成21年度）
- ●平成20年度：68機関、21プロジェクト
- ●平成21年度：74機関、21プロジェクト

第3期（平成22年度～平成24年度）
- ●平成22年度：24機関、13プロジェクト
- ●平成23年度：31機関、12プロジェクト

CSI：Cyber Science Infrastructure（最先端学術情報基盤）　http://csi.nii.ac.jp/

■平成23年度CSI委託事業（コンテンツ系）領域2、領域3　プロジェクト一覧

テーマ	プロジェクト名	代表機関	分担機関	連携機関
領域2：先導的プロジェクト支援	数学ポータル構築	北海道大学		
	機関リポジトリアウトプット評価の標準化と高度化	千葉大学		東北大学　筑波大学
	博士論文発信支援パッケージ開発プロジェクト	東京大学		
	オープンアクセス環境下における同定機能導入のための恒久識別子実証実験	金沢大学		千葉大学　北海道大学
	クラウド環境における電子出版・リポジトリ連携実証実験	名古屋大学		一橋大学
	全国遺跡資料リポジトリ	島根大学		東北大学　山形大学　筑波大学　信州大学 富山大学　滋賀大学　奈良女子大学 大阪大学　神戸大学　鳥取大学　岡山大学 広島大学　山口大学　香川大学　徳島大学 愛媛大学　高知大学　九州大学　宮崎大学
	文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発	九州大学		一橋大学　筑波大学　三重大学
	新XooNIpsの開発/Library モジュールの開発と普及	慶應義塾大学		別府大学　奈良大学 近畿大学　熊本学園大学
領域3：学術情報流通コミュニティ活動支援	機関リポジトリコミュニティ活性化のための情報共有	北海道大学	金沢大学	小樽商科大学　千葉大学　大阪大学　広島大学
	機関リポジトリ担当者の人材育成	広島大学	大阪大学 千葉大学	
	オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト	筑波大学		千葉大学　東京工業大学　神戸大学
	近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援	大阪大学		奈良女子大学　神戸市外国語大学 龍谷大学　大阪市立大学

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

【お問い合わせ先】　国立情報学研究所　学術基盤推進部　学術コンテンツ課
図書館連携チーム（IR担当）
〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
MAIL▶ir@nii.ac.jp　URL▶http://www.nii.ac.jp/irp/

2012.3　1,000部

学術機関リポジトリは学術コミュニケーションの新しい地平を切り拓く。

IRP
NII Institutional Repositories Program

学術機関リポジトリ構築連携支援事業

●大学が生み出す知的成果を広く社会と共有することが、大学の社会的責任として強く求められています。「学術機関リポジトリ（IR）」は、大学の教育・研究・社会貢献という使命を果たすうえで、重要な役割を担っています。

●国立情報学研究所は、大学等の学術研究機関との連携協力により、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業の一環として、IRの構築・連携を支援しています。

学術機関リポジトリポータル登録コンテンツ数
120万件以上 ※2012年3月現在

日本のリポジトリ公開機関数
世界第2位 ※2012年3月現在

日本のリポジトリ公開機関数
7年間で220以上 ※2012年3月現在

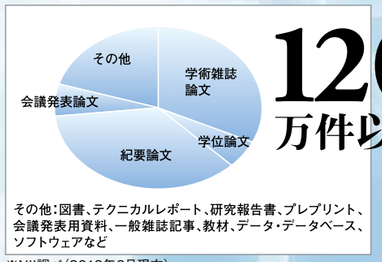
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

大学の研究・教育成果発信のさらなる強化に向けて、学術機関リポジトリの構築連携を支援します。

http://www.nii.ac.jp/irp/

【学術機関リポジトリの定義】
大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス。
※クリフォード・リンチ（2003）

IRポータル登録コンテンツ数

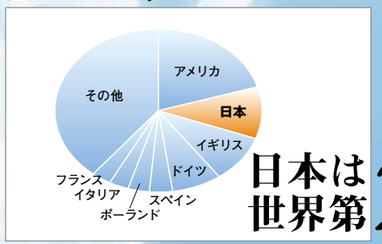


120万件以上

その他：図書、テクニカルレポート、研究報告書、プレプリント、会議発表用資料、一般雑誌記事、教材、データ・データベース、ソフトウェアなど

※NII調べ（2012年3月現在）

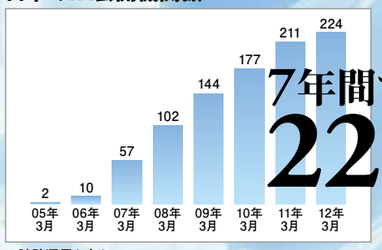
世界のIR数：2,100以上



日本は世界第2位

※NII調べ（2012年3月現在）

日本のIR公開機関数



7年間で220以上

※試験運用を含む
※NII調べ（2012年3月現在）

IRP
学術機関リポジトリ構築連携支援事業

利用者

横断的検索機能の提供
（学術機関リポジトリポータル）

学術コンテンツ発信

大学からの情報発信

NII

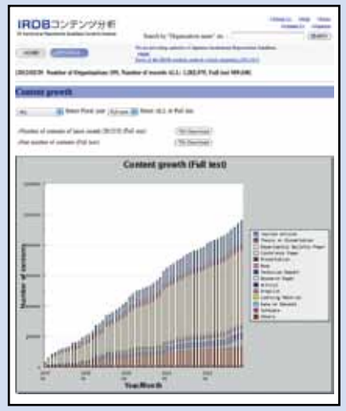
JAIRO

JAIROは日本のIRに蓄積された学術情報（学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等）を横断的に検索できるサービスです。

CiNii
NII論文情報ナビゲータ

IRDBコンテンツ分析

各IRの詳細情報やコンテンツ内容の統計分析情報を提供しています。



KAKEN
科学研究費補助金データベース

RResolver
研究者リゾルバー

国内最大級の論文データベースのCiNii、科研費報告書や研究者のデータベースからIRへ有機的にリンクします。

JAIRO Cloud

大学等の教育研究成果を発信する機関リポジトリの構築を推進し、オープンアクセスの進展を図るため、独自の構築・運用が難しい機関に対し、NII開発のソフトウェア「WEKO」をベースに構築した機関リポジトリのシステム環境を提供します。

連携

メタデータの提供

大学

A大学 IR | B大学 IR | C大学 IR

学術雑誌論文	学位論文	紀要論文
会議発表論文	図書	テクニカルレポート
研究報告書	プレプリント	その他

研究者

協力

サービス・ツールの提供

学術機関リポジトリのメリット

【研究者にとって】
成果の効果的発信、研究インパクトの向上、被引用機会の拡大

【大学にとって】
社会に対する説明責任、大学ブランド力の向上、国際発信力の強化

【社会にとって】
情報格差の是正、コミュニティの活性化、産学連携のシーズの発掘

【図書館にとって】
学術コミュニケーションへの寄与、図書館サービスの高度化

IR構築支援

学術コンテンツ形成

IR構築

NII学術機関リポジトリ構築連携の3つのサポート

1 コンテンツ構築

- 学協会誌論文の電子化とコンテンツ提供
- IRに対する学会の著作権ポリシーの確認
- 紀要発信支援とIRへのコンテンツ提供
- SPARC Japan※1パートナー誌へリポジトリフレンドリーポリシー推奨

2 システム連携

- メタデータフォーマット"junii2※2"の提供
- 各IRのメタデータをOAI-PMH※3でハーベストし集約
- 国内学術機関リポジトリポータル"JAIRO"の提供

3 コミュニティ形成

- 報告交流会、研修、ワークショップ、シンポジウムの実施

※1 **SPARC Japan**:
日本の学協会等が刊行する学術雑誌の電子ジャーナルを支援・強化することによって、海外への研究成果発信の一層の普及を推進するNIIの事業です。

※2 **junii2**:
NIIが策定したIRのメタデータ・フォーマットで、国際標準メタデータ・フォーマットDC（ダブリンコア）に準拠しています。国内IRのデファクト・スタンダードです。

※3 **OAI-PMH**:
IR（データプロバイダ）のメタデータを電子論文対応検索エンジン（サービスプロバイダ）にハーベスト（自動取得）させるための国際標準プロトコルです。